

## 委員意見と答申案における取扱いについて

## 1 事業計画

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
1-1	○ルート案①の場合、山陽自動車道に出来るのはインターチェンジなのか、それともジャンクションなのか。また、山陽自動車道から接続部で降りることは出来るのか。【吉富委員】 ○ルート案②の場合、沼田料金所と五日市 IC の 2 箇所を料金所を通過することになるのか。【吉富委員】	※事業者等から、ルート案①の場合、ジャンクションが想定されること、山陽自動車道から接続部では降りることができないこと、ルート案②の場合、料金所は 1 箇所が想定される旨の説明があったため、答申案に盛り込まない。	—
1-2	○ルート案①について、既存の道路を活用するというのは具体的にどう活用するのか。【百武委員】	※事業者等から、ルート案①の場合、既存の道路上空を含めた道路空間を活用する旨の説明があったため、答申案に盛り込まない。	—
1-3	○ルート案②の場合、アストラムライン延伸の影響を考えないといけないのではないかと。【吉富委員】	※事業者等から、ルート案②の場合、アストラムライン延伸の計画を考慮する旨の説明があったため、答申案に盛り込まない。	—

## 2 計画段階配慮事項及び調査・予測・評価の結果

## ○ 騒音

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
2-1	○ルート案①について、新しい家が立ち並んでいるところへの影響は考慮しているのか。【折本委員】	本事業計画の更なる検討に当たっては、事業実施想定区域内に新たに造成された住宅地への影響も適切に配慮して行うとともに、検討の経緯及び内容について、環境影響評価方法書に適切に記載すること。 また、具体的なルートの設定に当たっては、事業実施に伴う環境への影響について適切に調査、予測及び評価を行い、環境影響が回避又は十分に低減されるよう必要な環境保全措置を検討すること。	1

## ○ 動物・植物

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
2-2	○動物の予測結果において、対象をオヒキコウモリとクマタカのみとしているのはなぜか。また、植物の予測結果においては、確認できなかったとしているのはなぜか。【保坂委員】	※事業者等から、配慮書では文献調査によって事業地周辺における動植物種の生息・生育位置が具体的にわかった種に対する評価を行い、方法書以降では現地調査を行って詳細な予測・評価を行う予定である旨の説明があったため、答申案に盛り込まない。	—

2-3	○動物・植物の重要な種リスト及び確認種リストに、生息・生育場所の情報があるものについてはわかる範囲で記載してほしい。【保坂委員】	環境影響評価方法書以降の手続で作成する図書について、現地調査の要否を適切に判断できるよう、文献調査による動物及び植物の確認種リスト等の記載と併せて、当該動物及び植物の確認場所等の位置情報の解像度も記載すること。	2(1)
2-4	○大塚川の下流部にある安川及び古川には特別天然記念物であるオオサンショウウオが生息しており、それらの上流部にある大塚川は本来の生息地であると考えられるため、方法書段階以降では配慮してほしい。【清水委員】	事業実施想定区域を流下する大塚川及びその支川については、その下流部の安川及び古川での確認状況を踏まえると、国の特別天然記念物であるオオサンショウウオの生息の可能性が考えられる。このため、環境影響評価方法書以降の手続において、調査、予測及び評価並びに環境保全措置の検討を適切に行うことにより、オオサンショウウオの生息環境への配慮を行うこと。	2(2)
2-5	○コウモリの分布にはルート案②のルートの方が被っているため、ルート案②の方がリスクは高いのではないか。【清水委員】	※事業者等から、両案どちらであっても森林部分への影響を可能な限り避けたルートを設定する旨の説明があったため、答申案に盛り込まない。	—

#### ○ 人と自然との触れ合いの活動の場

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
2-6	○川を工事する際は、子供たちが川辺で水に親しめるような環境を新たに創造してほしい。【清水委員】	環境影響評価方法書以降の手続において、対象事業実施区域に河川が含まれる場合は、市民が川辺で水に親しめる環境に配慮するといった観点も含め、調査、予測及び評価並びに環境保全措置の検討を適切に行うこと。	3

#### ○ 廃棄物

整理番号	意見の概要	答申案	答申案該当箇所
2-7	○工事における山の切り崩しや廃棄物の量についても、ルート案①の方が少ないのか。【金田一委員】	※事業者等から、配慮書では工事における山の切り崩しや廃棄物の量については不明だが、ルート案②では山を切り崩す可能性が高い旨の説明があったため、答申案に盛り込まない。	—